

有明海沿岸道路 (Ⅱ期)

～新鮮な“トマト”を県外の大消費地へ～ 地域産業への支援

<高規格道路の延伸によるストック効果>

●熊本県産のトマトの方面別出荷量の推移



注/指定消費地域のみ
資料/野菜生産出荷統計

昭和50年から平成2年にかけて、関東地方へ
2.8倍、近畿地方へ**2.5倍**に出荷量が増加



参考：2004年道路整備効果事例集

有明沿岸道
(Ⅱ期)の整備

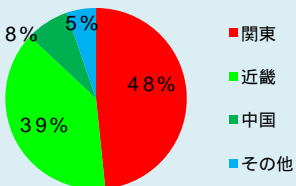
より遠く！

市場の新規開拓
より早く！
商品価値の向上
よりたくさん！
輸送効率の向上

<たまな地域のトマト生産量>

<消費地別出荷状況>

順位	地域	生産量(トン)
1位	八代	64,806
2位	玉名	50,519
3位	宇城	9,607



約95%が県外へ出荷

- ・県内生産量第2位
- ・当地域の主力農産品

県内単価を1とすると、
関東・近畿では**2～3倍**で販売

<トマトの生産エリアと流通経路>



出荷額の増加
所得の向上
(ストック効果)